

生活科学習指導案

1. 日時 平成26年(2014年)10月31日(金) 5校時

2. 学年 1年

3. 場所 教室

4. 単元名 「はなややさいをそだてよう～わたしの、ぼくのサツマイモ～」

5. 単元目標

植物に興味・関心を持ち、継続して関わるなかで、植物が生命を持っていることや成長していることに気付き、植物への親しみを持ちながら、大切にすることができるようにする。

6. 評価規準

【生活への関心・意欲・態度】

①サツマイモの成長を楽しみにしながら、世話を続けることができるようにする。

②サツマイモを使って楽しく活動したり、進んで報告会に参加しようとしたりする。

【活動や体験についての思考・表現】

①サツマイモの成長の変化やサツマイモを使った活動について自分なりに考えを持つ。

②サツマイモの成長の様子や、収穫した喜び、お世話になった人への感謝の気持ちを絵や文で表現できるようにする。

【身近な環境や自分自身への気付き】

①サツマイモとのかかわりを通して植物への親しみを持ち、植物の成長の変化や植物には生命があることに気付いている。

②活動を振り返り、自分や友だちの考えや取り組みのよさなどに気付く。

7. 単元について

本単元は、学習指導要領生活科の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする。」を受けて構成している。

本単元では、「育てる」から「食べる」までの一連の活動を通して、児童の興味・関心を持続させていくことが期待できる。「たくさんサツマイモができたらいいな。」「甘くておいしいサツマイモを食べたいな。」という児童の思いや願いを生かして、サツマイモの成長を楽しみにしながら、日々の関

わりを深めていきたい。そして、進んで世話をしたり収穫したりする具体的な活動や体験を数多くさせて、サツマイモに興味・関心を持ち、畑のサツマイモが生きていることや成長していることに気付かせ、生命あるものを大切にする心をはぐくむ価値ある体験にしたい。さらに、食べる活動においては、一生懸命育ててきたサツマイモをどのように食べたいかを考えさせる。「育てる」から「食べる」まで、児童の主体性、つまり児童の思いをできる限り大切に学習活動を組み立てていく。こうして児童に自信や達成感を持たせ、今後の学ぶ意欲に繋げていきたい。

サツマイモは、比較的やせた土地でも栽培でき害虫にも強い低学年の栽培活動に適している。幼稚園や保育園で経験している児童がいることやサツマイモを使った調理法がたくさんあることから、比較的児童にとって馴染みがある野菜であり、今までの経験と比較しやすい。

また、野菜を育てる専門家であるゲストティーチャーとの関わりを通して、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせたい。話を聴くときは、挨拶や言葉遣いについて指導したり、手紙を書くときは、手紙の書き方について指導したりと、機会を捉えて、児童一人一人に応じて適切に指導していきたい。

さらに、本単元での経験を、2年生になったときに、自分の野菜作りに生かしたり、サツマイモの育て方を1年生に教えたりできるように、2年間を見通して指導計画を立案する。

8. テーマを具現化するための手立て

テーマ 「豊かな学びを創り出す のびっ子の育ち」

サブテーマ 「子どものおもいに寄り添った主体的な問題解決を目指す授業づくり」

(1) 実体験の重視

①「食べる」というめあてをはっきりさせて、栽培活動をおこなう。

児童は、育てたものを「食べたい。」という気持ちが強いので、「食べる」というめあてをはっきりさせることで、おいしく食べられるように頑張って育てようとしたり、育ちを楽しみにしたりすることができる考えた。

②繰り返しサツマイモに関わる。

繰り返しサツマイモに関わることで、親しみを持つようになり、「先生、サツマイモがね・・・」「畑に雑草が生えているけど・・・」とサツマイモの会話が増える。サツマイモと仲良くなると新しい気付きが持てたり、前との比較ができたりと発見が生まれる。そして、「どうして？」と疑問を持つようになり、「知りたい」という気持ちが、次の活動へとつながり、関わりが深まっていく。

③人に関わる。

子どもの疑問を解決する手立ての一つとしてゲストティーチャーを活用した。育てる活動をするなかで、「自分たちでは分からないことは、サツマイモ博士に聞けば分かる。」と児童が思えることは、見通しを持つことに繋がるとともに、主体的な活動になると考えている。1年生では自分たちで問題を解決するには限界があるので、教師やサツマイモ博士など他の人の力を借りて解決するという方法を学ぶことは意味がある。

(2) 言語活動の重視

①気付きの質を高めるために、言語活動を行う。

活動を充実させるために、活動だけで終わるのではなく、一人一人が気付きを持ち、気付きの質を高めることが必要であると考えた。そのためには、児童の行動・発言・つぶやきや、観察カードに書いたことを大切に、児童の内面の育ちを見取り、児童に伝え、気付きの自覚化を促す。この気付きの自覚化が気付きの質を高める指導につながることで、意図的・計画的・組織的な授業づくりをする。その上で、次の5つの視点を大切にしたい。

ア. 繰り返しサツマイモに関わる学習活動を計画する。

イ. 児童が見つけた気付きに対して、教師が「なんでだろうね。」「何みたいかな。」など言葉かけをする。

ウ. 観察カードや付箋に、サツマイモへの思いや観察して気付いたこと、自分はどう思ったかを書かせ、気付きや学びを自覚化させる。

エ. 伝え合う活動を通して、一人の気付きを全員で共有し価値づけする。

オ. 伝え合う活動を通して、考えを繋ぎ合わせたり、比較させたりする。

②サツマイモを擬人化して言葉にする。

サツマイモは、収穫までは、同時期に育てているアサガオに比べて変化を感じにくいので、教師の働きかけにより、児童に興味・関心を高めさせる必要がある。例えば、土の中のサツマイモの様子を予想させて絵に描かせたり、サツマイモを擬人化して話しかけたり、手紙を書かせたりする。そうすることで、今までよりサツマイモのことを考えたり収穫を楽しみにしたりして、地下から掘り上げた時の喜びや驚きも期待できる。

また、擬人化することで、児童にとってより身近な存在となり、進んで世話をするようになると考えた。

③サツマイモ博士に手紙を書く。

7月の授業にサツマイモ博士を招いて、児童の相談役になってもらった。そして、夏休み明けは、学年の廊下にサツマイモ博士の顔写真と手紙用紙とポストを用意して、児童が疑問や心配に思っていることを自由に書いて、ポストに入れられるようにした。7月に一度会って、夏休み明けにビデオレターを見ているので、手紙でも継続して交流ができた。手紙を書くという行為は、疑問や心配を解決する児童の主体的な姿だと捉えている。また、手紙や返事を全体で共有することで、児童の意識が高まる。

9. 指導計画（全17時間）

教師の投げかけ	ねがい
児童の予想	気付き

学習活動の流れ	時間	教師の指導・支援	評価の観点と方法
第1次 サツマイモを育てる			
<p>サツマイモの苗を植えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察する。 苗を植える。 <p>C: 芋掘りして食べたいな。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 一人一本ずつ苗を与え、五感を使って観察させる。 苗の植え方を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味関心を持って観察し、観察カードに絵や文で表現することができる。 <p>【思表②】(記録分析)</p>
<p>C: 先生、雑草がいっぱい生えているよ。</p> <p>雑草って何かな？</p> <p>C: 栄養を取っちゃう悪い草</p> <p>C: 植えてないのに生えてくる草</p> <p>C: 抜いたほうがいいよ。</p> <p>雑草をみんなで抜こう。</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> 雑草だらけになった畑を全員に気付かせ、問題を意識化させるために、授業で話し合わせて行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 雑草について話し合い、皆で世話をできるようにする。 <p>【関意態①】</p> <p>(行動分析・発言分析)</p>
<p>おじいさんはどんなかぶになってほしかったのかな。</p> <p>C: あまくて、おおきなかぶ</p> <p>みんなは、どんなサツマイモに育ててほしい？</p> <p>C: 甘いサツマイモ</p> <p>C: 大きなサツマイモ</p> <p>C: ホッカホカのサツマイモ</p> <p>そのためには、どうすればいいのかな。</p> <p>C: おじいさんみたいにお願いをする。</p> <p>C: 水をあげる。</p> <p>C: 毎日あげたほうがいいのか。</p> <p>C: どんな栄養をあげたらいいの。</p> <p>サツマイモ博士に、聞きたいことを質問してみよう。</p>	1 (国語)	<ul style="list-style-type: none"> 児童の意識に沿った充実した活動を行う上で合科的な学習を行う。 「おおきなかぶ」のおじいさんの気持ちを考えさせる。 一人一人に願いを持たせ、書かせる。 話し合い活動を行い、友だちの考えや思いに気付かせ、自分の考えと比較させる。 サツマイモ博士の存在を伝える。 	<p>サツマイモへの願いを一人一人が持ち、サツマイモの成長に必要なことについて自分なりに考えを持ったり、話し合ったりする。</p> <p>【思表①】</p> <p>(発言分析・記録分析)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモ博士の話聞く。 ・サツマイモ博士にお礼の手紙を書く。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉遣い、話の聴き方を指導しておく。 ・国語「かけるようになったよ」の単元とタイアップして、手紙の書き方を学習させる。 	<p>サツマイモが育つのに必要なことに気付く。【気付き①】 (行動分析・発言分析)</p> <p>サツマイモ博士への感謝の気持ちを絵や文で表現できる。</p> <p>【思表②】(記録分析)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・これからの育て方をサツマイモ博士からのビデオレターで確認する。 ・雑草抜き、水やり、つるがえし、試し抜きをする。 ・困ったことをサツマイモ博士に手紙で聞く。 ・観察して観察カードにかく。 ・土の中を予想して絵や文でかく。 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みをはさんだため、ビデオレターを見て、育て方を再度確認させる。 ・サツマイモを擬人化して関わらせる。 ・気付きに対して言葉かけをしたり共有したりする。 ・手紙の指導をする。 ・観察カードに、自分はどう思ったかを付け加えさせる。 ・伝え合う活動を通して、考えを繋ぎ合わせたり、比較させたりする。 	<p>サツマイモの成長を楽しみにして、世話ができる。【関意態①】(行動分析)</p> <p>サツマイモが成長していることや生命があることに気付く。</p> <p>【気付き①】(発言分析・記録分析)</p> <p>成長の様子を絵や文で表現できる。【思表②】(記録分析)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモを収穫する。 ・サツマイモを収穫した場面を観察カードにかく。 	1 1 (国語)	<ul style="list-style-type: none"> ・日記を書いて、自分の気持ちを書かせることで、達成感や充実感を意識させる。 ・国語「しらせたいな、見せたいな」と関連させて、観察したことを記録する文章を書かせる。 	<p>サツマイモを収穫した喜びを絵や文で表現できるようにする。</p> <p>【思表②】(記録分析)</p>

第2次 採れたサツマイモを使って活動する。			
<ul style="list-style-type: none"> ・収穫までの活動を振り返る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今までサツマイモを育ててきて、どんな気持ちですか？</p> </div> <p>C:頑張って育てて良かった。 C:サツマイモがとれて嬉しい。 C:早く食べたいな。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分たちで育てたサツマイモをどう食べるか考えよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・作って食べたい料理を短冊に書く。 ・種類別に短冊を貼る。 ・話し合いをする。 	1 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫したサツマイモを教室に準備する。 ・芋を一人一人に配り、見て触って食べ方を考えさせる。 ・短冊に一人一人書かせることで、それぞれに食べ方について思いを持たせる。 	サツマイモの食べ方について、自分なりの考えを持っている。【思表①】 (発言分析・記録分析・行動分析)
<ul style="list-style-type: none"> ・作り方を知る。 ・調理して食べる。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>C:自分で育てたサツマイモがおいしくて良かったな。 C:焼いていたら、いい匂いがしてきたよ。 C:初めて作ったけどおいしくできたよ。 C:手伝ってくれた人にありがとうって伝えたいな。</p> </div>	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に協力してもらい、皆で調理して食べる。 ・作って食べた感想を書き、達成感を味わわせる。 	サツマイモを使って楽しく調理したり食べたりする。【関意態②】 (行動分析) 活動を振り返り、絵や文で表現する 【思表②】 (発言分析・記録分析)
<ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモの成長や今までの取り組みを振り返る。 	2	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りやすいように視点を与える。 ・サツマイモ博士や調理を手伝ってくれた方々に支えられてここまでできたことに気付かせ、報告会につなげる。 	サツマイモを育てたことや調理して食べたことを振り返り、自分や友だちの考えや取り組みのよさなどに気付く。【気付き②】 (発言分析・記録分析)
<ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモ博士やおうちの人を招待して、報告会をする。 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が進んで参加できるようにする。 	進んで報告会に参加する。 【関意態②】(行動分析)

10. 本時計画（10／17時間）

（1）本時目標

採れたサツマイモを見て、どのようにして食べるか考える。

（2）本時の流れ

学習活動 C：予想される児童の反応	教師の指導・支援	評価
<p>1. 収穫までの活動を振り返る。</p> <p>サツマイモを育ててきたことを振り返って、今どんな気持ちですか？</p> <p>C: 頑張って育てて良かった。 C: サツマイモがとれて嬉しい。 C: 早く食べたい。</p> <p>ここにいるサツマイモさんは、みんなに何と言っているかな？サツマイモさんの声を聴いてみよう。</p> <p>C: 「今まで育ててくれてありがとう。」って言っているよ。 C: 「おいしく食べて。」だって！</p> <p>2. 自分たちで育てたサツマイモの食べ方を考える。</p> <p>自分たちで育てたサツマイモをどのようにして食べるか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモに触れながら、おいしいと思う食べ方を考え、短冊に書く。 ・種類別に短冊を貼る。 ・自分の思いを話したり、友だちの話聞いて質問したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫したサツマイモを教室に準備する。 ・収穫までの活動を振り返らせる手立てとして、今までの取り組みの写真やサツマイモ博士に書いた手紙などを見せて視覚的に働きかける。 ・取り組みだけでなく、思いも振り返らせる。 ・芋を一人一人に配り、サツマイモを耳に当てて考えさせる。 ・本時のめあてを貼り、視覚的に学習内容が分かるようにする。 ・児童のサツマイモへの愛着から、おいしく、大切に食べてほしいという教師の願いを伝える。 ・芋を見て触って食べ方を考えさせる。 ・短冊に一人一人書かせることで、それぞれの考えを表出させる。 ・種類別に貼ることで、児童の考えを見やすくする。 ・「どんな料理か」「なぜその食べ方にしたのか」を聞くことで、今までの経験やサツマイモへの思いを表出させやすくする。 ・児童の発言から出てきたキーワードを板書して、目で見て分かるようにする。 ・話し合いで考えが変わることも予想されるので、変更するときは理由を言わせる。 	<p>サツマイモの食べ方について、自分なりの考えを持っている。</p> <p>【思表①】 （発言分析・記録分析・行動分析）</p>

11. 修正本時案 (10/17 時間)

(1) 本時目標

採れたサツマイモを見て、どのようにして食べるか考える。

(2) 本時の流れ

学習活動	教師の指導・支援	評価
<p>1. 収穫までの活動を振り返る。</p> <p>サツマイモを育ててきたことを振り返って、今どんな気持ちですか？</p> <p>C: 頑張って育てて良かった。 C: サツマイモがとれて嬉しい。 C: さみしい。また育てたい。</p> <p>ここにいるサツマイモさんは、みんなに何と言っているかな？サツマイモさんの声を聴いてみよう。</p> <p>C: 「おいしく食べて。」だって！ C: どんな食べ方でもおいしいよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫したサツマイモを教室に準備する。 ・収穫までの活動を振り返らせる手立てとして、今までの取り組みの写真やサツマイモ博士に書いた手紙などを見せて視覚的に働きかける。 ・取り組みだけでなく、思いも振り返らせる。 <p>サツマイモへの愛着の強さの表れ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芋を一人一人に配り、サツマイモを耳に当てて考えさせる。 <p>「焼き芋にしてって聴こえた。」など様々な食べ方が出る中で、「育てたサツマイモは甘いからどんな食べ方でもおいしいと思う。」と言う児童がいて、みんな共感していた。</p>	<p>サツマイモを耳に当て目を閉じてサツマイモの声を聴いている写真を見て、「サツマイモの声は心で感じるんだよ。」と説明する児童がいた。</p>
<p>2. 自分たちで育てたサツマイモの食べ方を考える。</p> <p>自分たちで育てたサツマイモをどのようにして食べるか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サツマイモに触れながら、おいしいと思う食べ方を考え、短冊に書く。 ・種類別に短冊を貼る。 ・自分の思いを話したり、友だちの話聞いて質問したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを貼り、視覚的に学習内容が分かるようにする。 ・「おいしく食べる」は児童から出たが、「大切に食べる」は出なかったので本時で板書しなかった。次時で取り上げた。 ・芋を見て触って食べ方を考えさせる。 ・短冊に一人一人書かせることで、それぞれの考えを表出させる。 ・種類別に貼ることで、児童の考えを見やすくする。 ・「どんな料理か」「なぜその食べ方にしたのか」を聞くことで、今までの経験やサツマイモへの思いを表出させやすくする。 ・児童の発言から出てきたキーワードを板書して、目で見て分かるようにする。 ・話し合いで考えが変わることも予想されるので、変更するときは理由を言わせる。 	<p>サツマイモの食べ方について、自分なりの考えを持っている。</p> <p>【思表①】 (発言分析・記録分析・行動分析)</p> <p>●大学芋、●スイートポテト、●焼き芋、味噌汁、サツマイモごはんの5つが出た。次時に作り方を知り、●の3つになった。</p>

■成果

- 低学年は、食べ物等を擬人化すると効果的だ。「おいもの声を聞いてごらん」という声かけは児童のおもいを引き出すためには良かった。
- これまでの活動を振り返る写真の活用、イモの姿をしたワークシートの工夫が、児童の思考を活性化させた。
- 1時間のなかで、児童を黒板前の床に座らせたり、椅子に座らせたり、イモを手を持たせたりすることで、飽きないで、集中して取り組ませることができた。

キーワード

「擬人化」「写真」「ワークシート」を通した「おもいを引き出す工夫」

■課題

- おいも博士に、イモを植える時から関わってもらおうと、たくさんのイモが採れたり、イモに対する愛着がより深まっていたりしたかもしれない。
- 黒板に自分の意見を貼り、提示したが、自分の意見を変更する児童の動機が、単純に、「賛成人数が多いから」「あの人がいるから」等、意見の本意ではない理由で変更する事が疑われる。
- 料理名を挙げて、全員が同じ料理を共通認識（イメージ）できていないのではないか。
- 子どものおもいに寄り添う授業をするには、日頃の児童の見取りが大切になるので、単元計画をしっかりと行い、何を見取るかを明確にしておくことが大切。

キーワード 単元計画